

小学校外国語科・外国語活動の授業力向上に向けた資質能力向上事業

調査の概要

◆課題認識

- ・小学校英語が教科化され、文部科学省作成の新教材・指導案等が配付された
- ・小学校教員が新しい指導内容である「読むこと」「書くこと」の指導ができるよう、授業力向上を図る研修の実施が喫緊の課題となっている

◆調査研究の目的

- ・民間教育事業者の外部講師を小学校等に派遣して研修を実施することを通じて、小学校教員の授業力向上を図ること

◆調査研究の方法

- ・専門性の高い研修を外部委託する→研修内容の専門化及び出張の負担軽減

◆研修実施校

- ・千葉市を除く県内53市町村のうち43市町59校で開催、1,775名が参加
- ・受講者による伝達講習は、小中学校653校で実施、延べ12,257名が参加

◆現状

- ・千葉市を除く県内小学校数:680校
- ・千葉市を除く本務教員数:15,528名
(平成30年5月1日現在)
- ・その他の研修
英語教育推進リーダーによる中核教員養成研修を神田外語大学で実施、平成26年度より年間約180名が参加
専門性向上のための講習を千葉大学で実施、平成29年度より延べ139名が参加

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

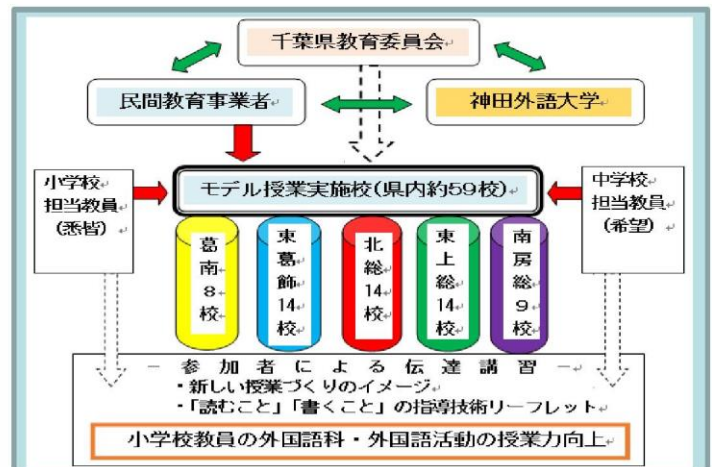
- ・これまで開催時期や開催場所が限られていた指導力向上研修において、民間教育事業者の外部講師を県内59校に派遣して専門性の高い研修の実施へ

②ポイントB

- ・文部科学省作成の新教材を使ってモデル授業を実施し、授業づくりを応援
- ・「読むこと」「書くこと」の指導法をリーフレットにまとめ、活用促進へ

◆成果

- ・これまで参加者が限られていた研修が、講師派遣により近隣で受講可能
- ・新教材や新しい指導内容が広く周知され、民間教育事業者のもつ専門性の高い指導技術とともに「読むこと」「書くこと」の指導におけるポイントを県下全域で共有
(研修参加者における研修内容の満足度は、91%(H31年2月時点))



今後の課題

◆「外国語科・外国語活動の授業力向上」の支援

- ・民間教育事業者の外部講師を多くの小学校に派遣することにより、中学校教員やALT等も含めた近隣での研修開催を継続し、小・中の円滑な接続を推進
- ・民間教育事業者のもつ「読むこと」「書くこと」の指導技術の活用による授業力の向上と評価の実際